

【問1】 ある会社の男性社員と女性社員との人数の比率は3:1であり、すべての社員の住居形態について、次のア～キのことがわかっている。

ア. すべての社員は、一戸建てか集合住宅のいずれかに住んでおり、戸建てに住んでいる社員は、集合住宅に住んでいる社員より4人少ない。

イ. 一戸建ての借家に住んでいる男性社員は14人である。

ウ. 集合住宅の持ち家に住んでいる男性社員的人数は、集合住宅の借家に住んでいる女性社員的人数の2倍である。

エ. 集合住宅の持ち家に住んでいる女性社員は6人である。

オ. 集合住宅の借家に住んでいる男性社員は20人である。

カ. 持ち家に住んでいる社員は69人である。

キ. 借家に住んでいる女性社員的人数は、借家に住んでいる男性社員的人数の $\frac{1}{2}$ である。

以上から判断して、一戸建ての持ち家に住んでいる男性社員的人数として、正しいのはどれか。

【地上21年度】12_0

- 1 30人
- 2 32人
- 3 34人
- 4 36人
- 5 38人

【問2】 ある会社の社員200人について、通勤に利用している交通機関を調査したところ、次のア～エのことがわかった。

ア バスを利用している社員は、114人である。

イ 都営地下鉄を利用している社員は、84人である。

ウ 私鉄だけを利用している社員は、バス、私鉄、都営地下鉄の3つとも利用している社員の2倍の人数である。

エ バスと都営地下鉄の2つだけを利用している社員は、バス、私鉄、都営地下鉄のいずれも利用していない社員の3倍の人数である。

以上から判断して、バス、私鉄、都営地下鉄の3つとも利用している社員として考えられる最も多い人数はどれか。

【地上13年度】26_3

- 1 26人
- 2 28人
- 3 30人
- 4 32人
- 5 34人

【問3】 ある会合の参加者に、外国旅行の経験の有無を尋ねたところ、次のA～Dのことがわかった。このとき確実に推論できるものはどれか。 【地上18年度】36_1

- A インドに行ったことがある人は、ロシアに行ったことがある。
- B エジプトに行ったことがある人は、中国またはインドへ行ったことがある。
- C ロシアに行ったことがある人は、タイと中国の両方へ行ったことがある。
- D ドイツに行ったことがない人は、タイに行ったことがない。

- 1 ロシアに行ったことがない人は、エジプトに行ったことがない。
- 2 ドイツに行ったことがある人は、ロシアに行ったことがある。
- 3 タイに行ったことがない人は、ドイツに行ったことがない。
- 4 インドに行ったことがある人は、ドイツに行ったことがある。
- 5 中国に行ったことがある人は、エジプトに行ったことがある。

【問4】 ある会社において、自分の好みの食事に関するアンケート調査を行ったところ、A, B, Cのことがわかった。これから確実にいえるのはどれか。ただし、どの食事も少なくとも1人は好きな食事として回答した人がいた。

【国I種17年度】37_4

- A ラーメンとすしが好きな人は、カレーライスも好きである。
- B ラーメンも焼肉も好きでない人は、すしかピザが好きである。
- C 焼肉が好きな人は、カレーライスもピザも好きではない。

- 1 カレーライスが好きな人は、焼肉が好きである。
- 2 ラーメンが好きな人は、焼肉が好きである。
- 3 すしが好きでない人は、ラーメンも焼肉も好きである。
- 4 ピザが好きな人は、焼肉が好きではない。
- 5 ラーメンが好きな人は、カレーライスが好きである。

【問5】 次の記述のうち、論理的に正しいのはどれか。 【国税11年度】47_1

- 1 核兵器を全廃しても世界から戦争はなくなる。ゆえに、「世界から戦争をなくすためには、核兵器の全廃が必要である」は誤りである。
- 2 「『論理』だけが世の中を動かす力ではない」が真なら、「『論理』は世の中を動かす力の一つである」も真である。
- 3 すべての学生は勉強に熱心である。すべての努力家は勉強に熱心である。ゆえにすべての学生は努力家である。
- 4 「パイロットなら無料・航空券がもらえる」ならば、「パイロットであることは、無料航空券がもらえるための必要条件である」。
- 5 「彼は酒が好きでかつ菓子も好きだ」の否定は、「彼は酒が好きでなく、かつ菓子も好きでない」である。

【問6】 外観では区別のできない10鉢の植木鉢があり、それぞれ花の種がまかれている。しかし、どの植木鉢に何色の花の咲く種がまかれているかについては、わからなくなってしまった。これらの植木鉢をA～Eの5人で2鉢ずつ分けて、花を育てたところ、すべての植木鉢に花が1輪ずつ咲いた。次のことがわかっているとき、確実にいえるのはどれか。

【国税18年度】60_1

- ・花の色は、赤、青、黄の3色である。
 - ・5人が持っている2鉢の花の色の組合せは、5人で相互に異なっている。
 - ・黄色い花の咲いた植木鉢を持っているのは、全部で3人である。
 - ・A、C、Eは、赤い花の咲いた植木鉢を持っている。
 - ・Bは、青い花の咲いた植木鉢を持っている。
- 1 青い花の咲いた植木鉢は、全部で2鉢ある。
 - 2 2鉢とも同じ色の花の咲いた植木鉢を持っているのは、1人のみである。
 - 3 Aは、黄色い花の咲いた植木鉢を持っている。
 - 4 Bは、赤い花の咲いた植木鉢を持っている。
 - 5 Cは、黄色い花の咲いた植木鉢を持っている。

【問7】 A～Fの6人が、コンビニエンスストアで梅干し、たらこ、さけ、昆布の4種類のおにぎりのうち、種類の異なるものを2個ずつ買った。今、次のア～カのことがわかっているとき、確実にいえるのはどれか。 【地上16年度】65_2

- ア 6人が買ったおにぎりの組合せは、それぞれ異なっていた。
- イ Aは、たらこを買った。
- ウ B、E、Fは同じ種類のおにぎりを1個買った。
- エ Cは、Fが買ったおにぎりと同じ種類のものを買わなかった。
- オ Dは、梅干しとさけを買った。
- カ Eは、梅干しを買った。

- 1 Aの買ったおにぎりの1つは、梅干しであった。
- 2 Bは、たらこと昆布を買った。
- 3 Cは、たらこさけを買った。
- 4 Eの買ったおにぎりの1つは、さけであった。
- 5 Fは、梅干しと昆布を買った。

【問8】 白色と茶色のお土産の饅頭が6個ずつ計12個あり、白色と茶色のいずれにも、あずき入り、クリーム入り、チョコ入りの餡が2個ずつあった。A～Eの5人が2個ずつ食べて次のような発言をしているとき、残った2個の饅頭について確実にいえるのはどれか。

【国Ⅱ種20年度】76_1

- A：「別々の色の饅頭を食べたところ、その一つはチョコ餡であった。」
- B：「別々の色の饅頭を食べたところ、その一つはチョコ餡で、もう一つの中身はAとは違っていた」
- C：「白色の饅頭を2つ食べたところ、中身の組合せがAと一致しており、その一つはクリーム餡であった。」
- D：「茶色の饅頭を2つ食べたところ、中身の組合せがBと一致していた。」
- E：「別々の色の饅頭を食べたところ、中身も別々で、白色の饅頭はAが食べた茶色の饅頭と中身が一致していた。」

- 1 白色であずき餡と白色でクリーム餡
- 2 茶色でクリーム餡と茶色でチョコ餡
- 3 白色であずき餡と茶色でクリーム餡
- 4 白色でクリーム餡と茶色であずき餡
- 5 白色でチョコ餡と茶色であずき餡